

(幸山市長答弁)

「TPP参加は、熊本市の基幹産業・農業に多大なマイナス影響」

上野議員は、12月議会最終日、熊本県社会保障推進協議会から提出された「公的医療を破壊するTPPに参加しないことを求める請願」に関連して、日本の保健医療・国民の健康、公的医療機関に及ぼす影響、また農業・その他の分野への影響などについて質し、本格的な検証や影響試算・市民への公表を求めました。

市長は、「本市の基幹産業・農業に多大なマイナス影響がある。地場産品を扱う卸売業や運輸業の販売額減少などのマイナス影響も大きいと考える。地域経済への影響試算は現段階で難しいが、国の動きを注視し、影響把握に努めていく」と答弁しました。

【12月議会の主な議案・請願・意見書の賛否】○：賛成、×：反対

(内容)	共産	自民	未来	連合	公明	自ク	日教
補正予算	×	○	○	○	○	○	○
動植物園の土日休日の駐車場有料化	×	○	○	○	○	○	○
「はあもにい」指定管理者指定	×	○	○	○	○	○	○
地域主権改革再検討の意見書提出の請願	○	○	○	○	○	○	○
公契約条例制定、建設のルールづくり請願	○	×	×	×	×	×	×
消費税増税反対の意見書提出を求める請願	○	×	×	×	×	×	×
子育て新システム導入に慎重を期す意見書	○	○	○	○	○	○	○

- * 日本共産党は、効果的な景気対策も盛り込まれないまま、ハコ物の合併新市基本計画を推進する補正予算に反対しました。総合女性センター「はあもにい」の指定管理も、直営を求め反対しました。
- * 「地域主権改革の再検討を求める意見書提出の請願」「子育て新システム導入に慎重を期す意見書」が、全会一致で採択されました。

市民病院長 「TPP参加は市民生活に影響を与える重要な問題、国民皆保険制度の崩壊で医療格差が生じることは避けるべき」

日本医師会・日本看護協会・日本病院学会など40の医療関係団体で構成する国民医療推進協議会は、TPPに警告を発し、APECでの首相のTPP参加表明後、12月9日「日本の医療を守る総決起大会」を

開き、「我が国の優れた公的医療制度を崩壊へと導く。国民皆保険を断固守り続けていく」と決議しました。市民病院長も、その立場で「皆保険の崩壊で医療格差が生じることは避けるべき」と答弁しました。

農業委員会会長 「TPP参加は広く国民生活に影響、1,167万人超の反対署名を無視した交渉参加は再考を願う」

農業委員会会長は、「TPP推進の危険性を再認識しているところ、交

渉参加に反対していく」と決意を述べました。

日本共産党 市議会だより
 発行：日本共産党熊本市議団
 ますだ牧子 上野みえこ なすまだか
 熊本市手取本町1-1 議会棟3階

No. 782
 2011年12月25日号
 電話 328-2656
 FAX 359-5047
 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



【控室から】 絆・連帯の大切さ

益田牧子

地元後援会の主催で、近所のカラオケ酒場を顧問借りて、「カラオケ忘年会」がありました。その中で、8月の琴平本町の火災で入浴中のため、下着だけで焼け出された女性(80歳代)からの訴えがありました。「毛布が薄いため、寒くて眠れません」と。さっそく、お店のマスターからの毛布の提供があり、参加者からも、翌日は、新品と使用していない毛布の提供がありました。火災にあった女性は、火事で何もかもなくなりましたが、「心の優しい人々と出会えました」と涙ぐんでおられました。一人ひとりの悩み、苦しみをわがごとくのように考え、行動する皆さんに感動しました。

東日本大震災の被災地は、更に厳しい冬を迎えています。日本共産党は、これまで、全国から寄せられた義援金を9億3000万円届け、今も、米や毛布・防寒着を送っています。熊本でも全国でも、人々の「絆・連帯」は、大きな力を発揮し、生きる力をまっしぐらにしています。

サンロード新市街への「場外車券売り場開設」中止を!

熊本市、場外車券売り場建設は「白紙の状態」と答弁

「開設反対」要望書を地元から提出

有限会社偕行企画熊本は、サンロード新市街への場外車券売り場開設準備を「集客活性化」を名目に進めています。

12月議会には、半径1km内にある本荘2、5町内会町から、開設反対の要望書が提出されました。市民連や個人からも反対の請願・陳情が提出されました。

ギャンブル場は市街地活性化に逆行

経済委員会で、益田牧子議員は、「ギャンブル場の建設は、街の活性化にはつながらない」と、市に開設に賛同しないよう求めました。

農水商工局長は「市へは管理責任者として同意を求められているが、現在白紙の状態である。地元自治会や病院、学校施設の同意書がどういう状況や意向で、出されたのか確認が必要である。合意形成の熟度の検討が必要であり、中心市街地活性化にどの程度寄与するか、経済効果などいろいろの面から検討を重ね判断していく」と答弁しました。

周辺自治会長の同意書の撤回相次ぐ

現在事業者は、半径1km内の72自治会長の約8割から「同意書」を取っています。

場外車券売り場のなかみを知り、同意書を撤回する自治会長も相次いでいます。

サテライト熊本新市街(仮称)

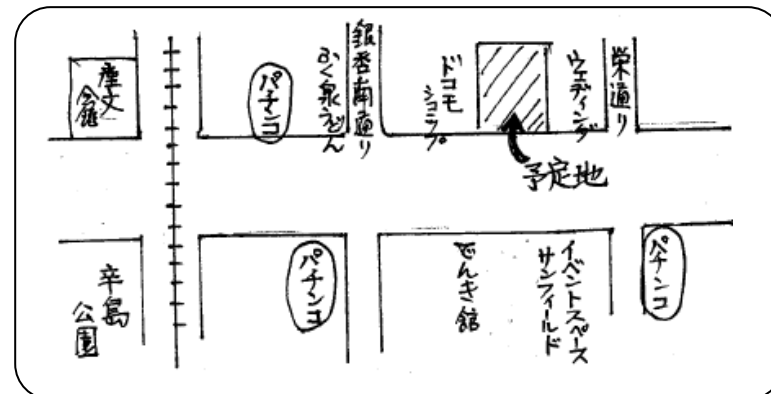
朝7時半~夜9時・360日の開設予定

開設予定地は、サンロード新市街の安田ビル1階(延床面積290㎡、営業面積240㎡)です。

1日、200人~300人の入場者を見込み、下記の表のように、熊本競輪場と比べ、開設日・営業時間ともに、長くなっています。

現在でもパチンコ店が乱立し、通行量が減少し、空き店舗が目立っています。場外車券売り場ができれば、女性や子ども連れが歩き難くなり、更に寂れてしまうのではないのでしょうか。

競輪場との比較表	熊本競輪場	(仮称)サテライト熊本新市街
開設日(年間)	本場(58日) 場外(218日)	場外360日
開設時間	7時20分~17時まで	7時30分~21時まで
売上(年間)	114億円(2010年度)	15億1200万円予定



信用保証料補給予算 5000万円増額

12月議会では、熊本市制度融資の信用保証料補助予算が、5000万円増額されました。

保証料を全額補助(経営向上小口資金や経営経済環境変動対策資金)、2分の1補助(小口資金)の貸し出し件数・金額が、4~7割増加しているための措置です。経済委員会では、新年度も引き続き、信用保証料補助を継続するように求めました。

制度融資相談窓口は森都心プラザ4階へ

* 森都心プラザ4階、ビジネス支援センター内融資相談窓口 ☎355~7402

(平日:午前10時~午後8時、日・休日:午前10時~午後6時)休館:第3水曜日、年末・年始

* 10月1日より、くまもと森都心プラザに併設され、熊本市直営から指定管理者に移行されました。日本共産党は、市の責任を果たすために、監督・指導の強化を求めています。

12月17日~森都心プラザに仮設駐輪場

10月1日から、森都心プラザ2~6階の市民サービスコーナー、図書館、ホール、会議室などがオープンしました。しかし、工事中的のため、駐車場・駐輪場がなく、やっと、12月17日から、仮設駐輪場が50~60台分設置されました。

工事完成後は、駐車場約75台、駐輪場約160台が設置されます。経済委員会では、プラザ周辺の広場・歩道部分への設置など駐輪台数を増やすように、要望しました。